

# YAMAHA

トリガー用PLS1

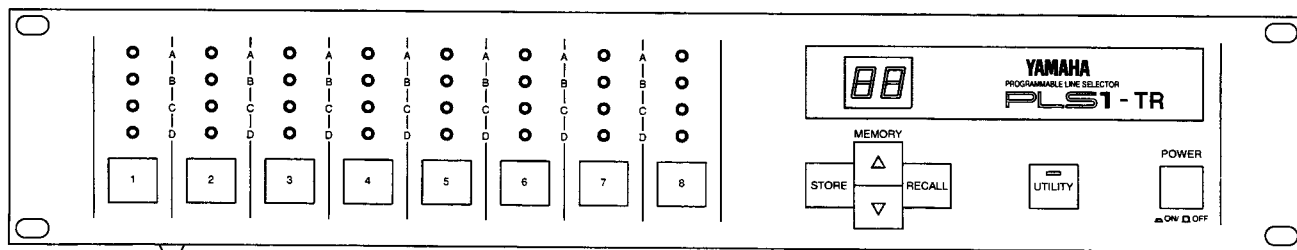
# PLS1 - TR

## 取扱説明書

このたびは、YAMAHAトリガー用PLS1 PLS1-TRをお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。

本機はフェーダースタート/ストップ対応のミキサーと接続することにより、フェーダー操作をキーにして、最大8台の機器のスタート/ストップを制御できます。

PLS1-TRの性能を十分に発揮させると共に、いつまでも支障なくお使いいただくため、ご使用前にこの説明書をよくお読みください。



### 目次

各部の名称と機能 .....	1
接続例 .....	2
本機の使い方 .....	3
仕様 .....	4

# ご使用上の注意

---

## ◆ 設置場所について

次のような場所でご使用になりますと、故障の原因となりますので注意してください。

- 直射日光の当たる場所や、暖房機具のそばなど
- 温度の特に低い場所
- 湿気やホコリの多い場所
- 振動の多い場所

## ◆ 無理な力を加えない

スイッチやツマミ類に無理な力を加えることは避けてください。

## ◆ 接続について

接続は、各機器の電源スイッチを切ってからおこなうか、各ボリュームを絞ってからおこなうかしてください。

## ◆ 電源について

- 本機は日本国内仕様です。必ずAC100 V、50/60 Hzの電源コンセントに接続してください。AC100 V以外の電源では絶対にご使用にならないでください。
- 電源スイッチは送信機器側から順に入れてください。また切るときは、逆の順序で切ってください。

## ◆ プラグ類を外す時は

コード部分の断線やショートを防ぐため、プラグ類は必ずプラグ部分を持って外してください。

## ◆ 他の電気機器への影響

本機はデジタル機器を多く使っているため、近くのラジオやテレビに雑音などが生じることがあります。その場合は十分に距離を離してお使いください。

## ◆ セットの移動

コード部分の断線やショートを防ぐため、他の機器との配線を取り外してからセットを移動してください。

## ◆ ケースを開けない

故障や感電の原因となりますので、ケースを開けたり本機を改造したりしないようにしてください。

なお、何か異物が本機の中に入ってしまった場合は、すぐに電源プラグを抜き、購入店または巻末に掲載されている最寄りのサービスステーションにご相談ください。

## ◆ 外装のお手入れについて

外装をベンジンやシンナー系の液体で拭いたり、本機の近くでエアゾールタイプのスプレーを散布しないでください。外装のお手入れの際は、必ず柔らかい布で乾拭きしてください。

## ◆ MIDIケーブル

MIDIケーブルは、MIDI規格のものをお使いください。MIDIケーブルの長さは15 mが限度とされています。それ以上長いケーブルをお使いになりますと、トラブルの原因となりますので注意してください。

## ◆ 保証書の手続きを

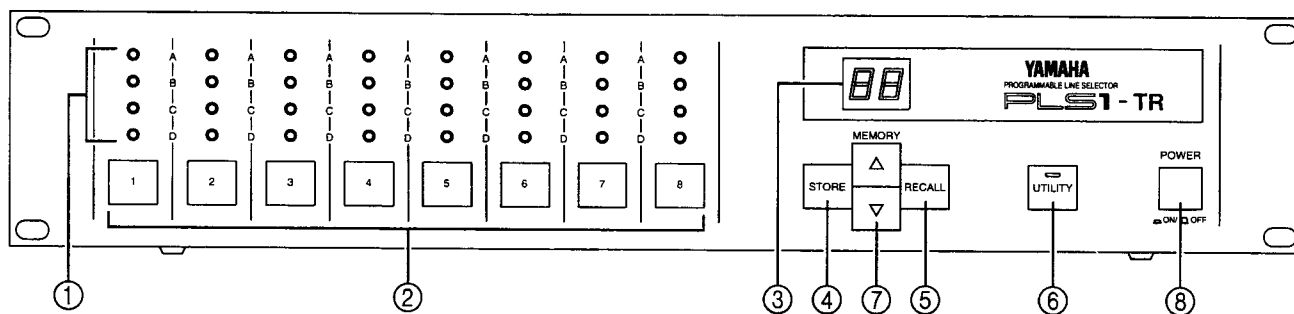
お買い求めいただいた際、購入店で必ず保証書の手続きをおこなってください。保証書に販売店印がありませんと、保証期間中でもサービスが有償となることがあります。

## ◆ 説明書は保管してください

この取扱説明書をお読みになった後は、保証書と共に大切に保管してください。

# 各部の名称と機能

## ■ フロントパネル



### ① インジケータ (A、B、C、D)

各チャンネルの出力があったとき点灯します。普段はDのみ点灯しています。

### ② チャンネルテストスイッチ (1~8)

本機のみでトリガー動作のテストをおこなえます。単独で各スイッチを押すと、対応するチャンネルのC端子に250 msのトリガーパルスを出力し、インジケータCが点灯します。

### ③ ④ ⑤ ⑥

使用しません。

### ⑦ ▲/▼スイッチ

本機のみでトリガー動作のテストをおこなえます。

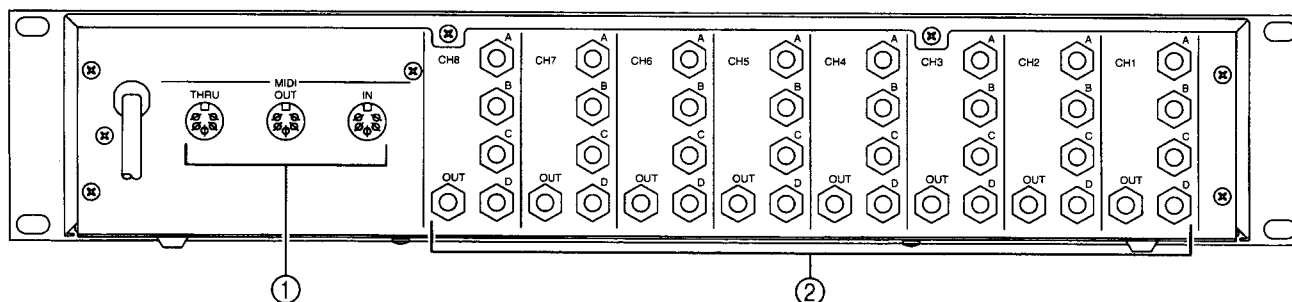
▲スイッチを押しながらいずれかのチャンネルテストスイッチ②を押すと、対応するチャンネルのA端子に250 msのトリガーパルスを出力し、インジケータAが点灯します。

▼スイッチを押しながらいずれかのチャンネルテストスイッチ②を押すと、対応するチャンネルのB端子に250 msのトリガーパルスを出力し、インジケータBが点灯します。

### ⑧ POWERスイッチ

PLS1-TRの電源スイッチです。

## ■ リアパネル



### ① MIDI IN、OUT、およびTHRU

MIDI IN端子をフェーダースタート/ストップ対応のミキサーのMIDI OUT端子と接続します。

MIDI OUTには何も接続しません。THRUからはIN端子に入った信号がそのまま出力されます。

### ② トリガー信号出力端子 (CH1~CH8)

各機器へのトリガー出力用フォンジャックです。

OUT端子は共通端子です。使用しない端子にはダミーのプラグを挿入してください。

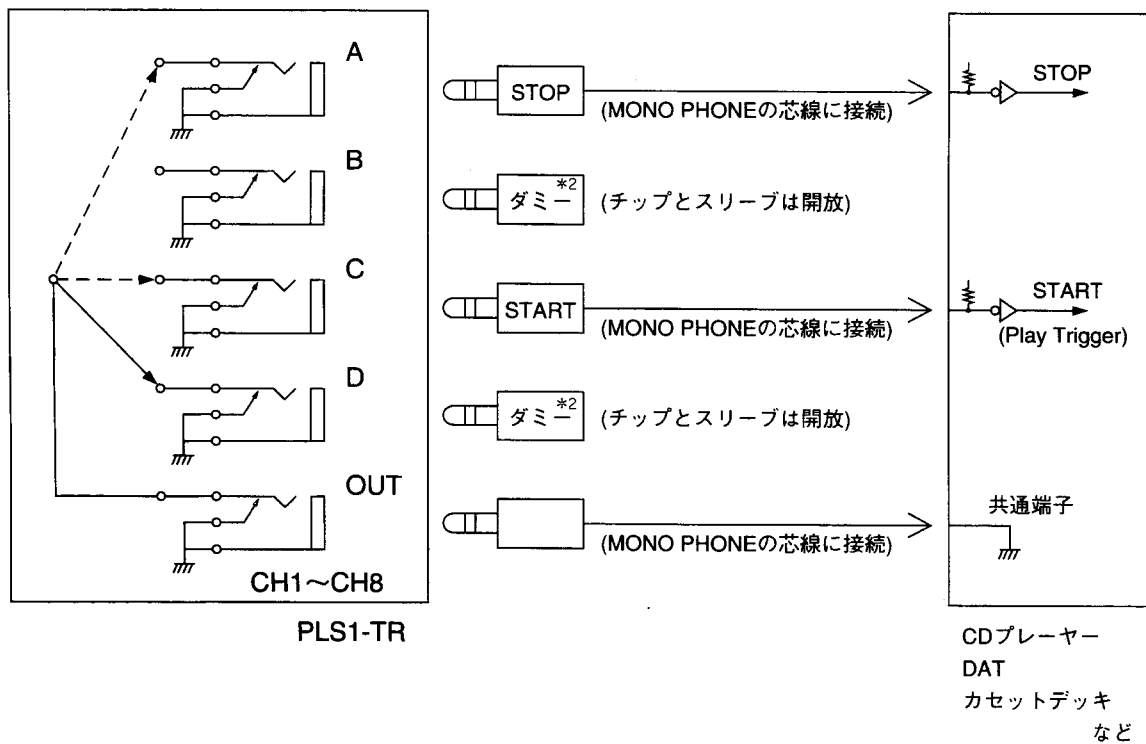
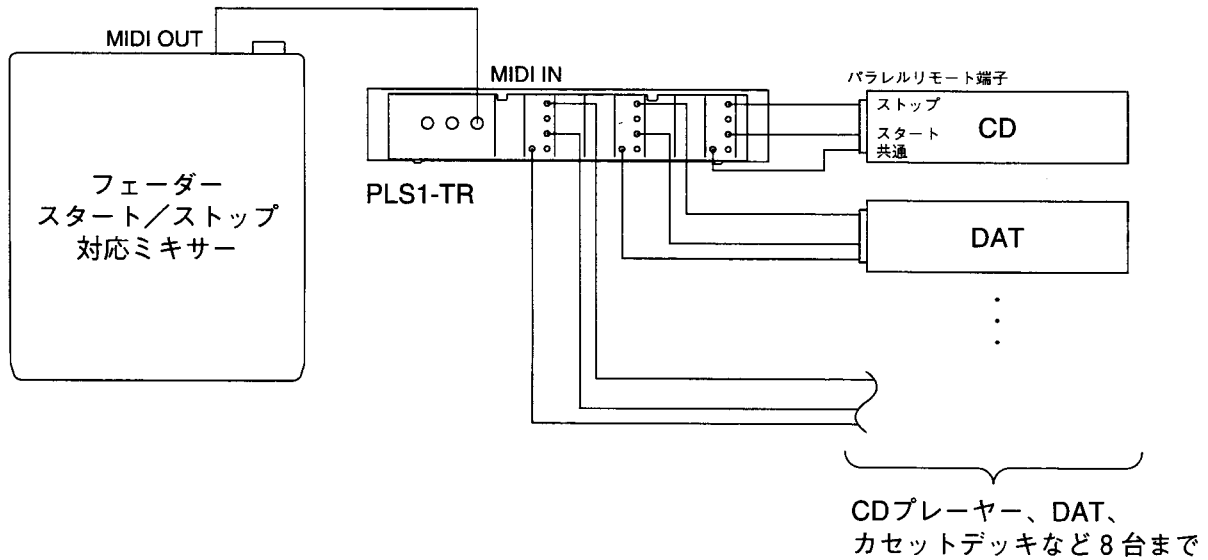
# 接続例

本機とフェーダースタート/ストップ対応のDMC1000ステレオ\*1をMIDIケーブルで接続してください。

8台までのテープレコーダー、CDプレーヤー、DATなどのスタート (play) /ストップ動作をDMC1000ステレオのフェーダーで制御できます。

接続例を次に示します。

\*1 お買上げ販売店までお問い合わせください。



\*2 誤動作を防止するために、ご使用チャンネルのB端子とD端子にはダミーのプラグを挿入してください。

# 本機の使い方

## ■ 本機のMIDI機能

本機はノートオン信号とプログラムチェンジを常にオムニで受信します。送信はおこないません。

電気的特性と信号の規格はMIDI規格1.0を遵守しています。

### ○ ノートオン信号受信時の機能

ノートオン信号を受信すると、250 msのトリガーパルスが発生します。ベロシティによって出力される端子が選択されます。

	チャンネル	ノートナンバー
9n 25 7F/00	1	37
9n 26 7F/00	2	38
9n 27 7F/00	3	39
9n 28 7F/00	4	40
9n 29 7F/00	5	41
9n 2A 7F/00	6	42
9n 2B 7F/00	7	43
9n 2C 7F/00	8	44

ベロシティの値と端子

ベロシティ	選択される端子
64以上	C
32~63	B
31以下	A

### ○ プログラムチェンジ受信時の機能

プログラムチェンジを受信すると、250 msのトリガーパルスをC端子に出力します。

	チャンネル	プログラム番号
Cn 78	1	121
Cn 79	2	122
Cn 7A	3	123
Cn 7B	4	124
Cn 7C	5	125
Cn 7D	6	126
Cn 7E	7	127
Cn 7F	8	128

### ○ トリガーパルスの発生は次のようにおこなわれます。

- 電源投入時および非動作時、OUT端子はD端子と導通しています。
- 有効なノートオンまたはプログラムチェンジ信号を受信すると、OUT端子はD端子との導通を遮断してA、BまたはC端子と250 msのあいだ導通します。
- この導通の切り換えが外部機器へのトリガーパルスとなります。

# 仕様

---

## ■ 一般仕様

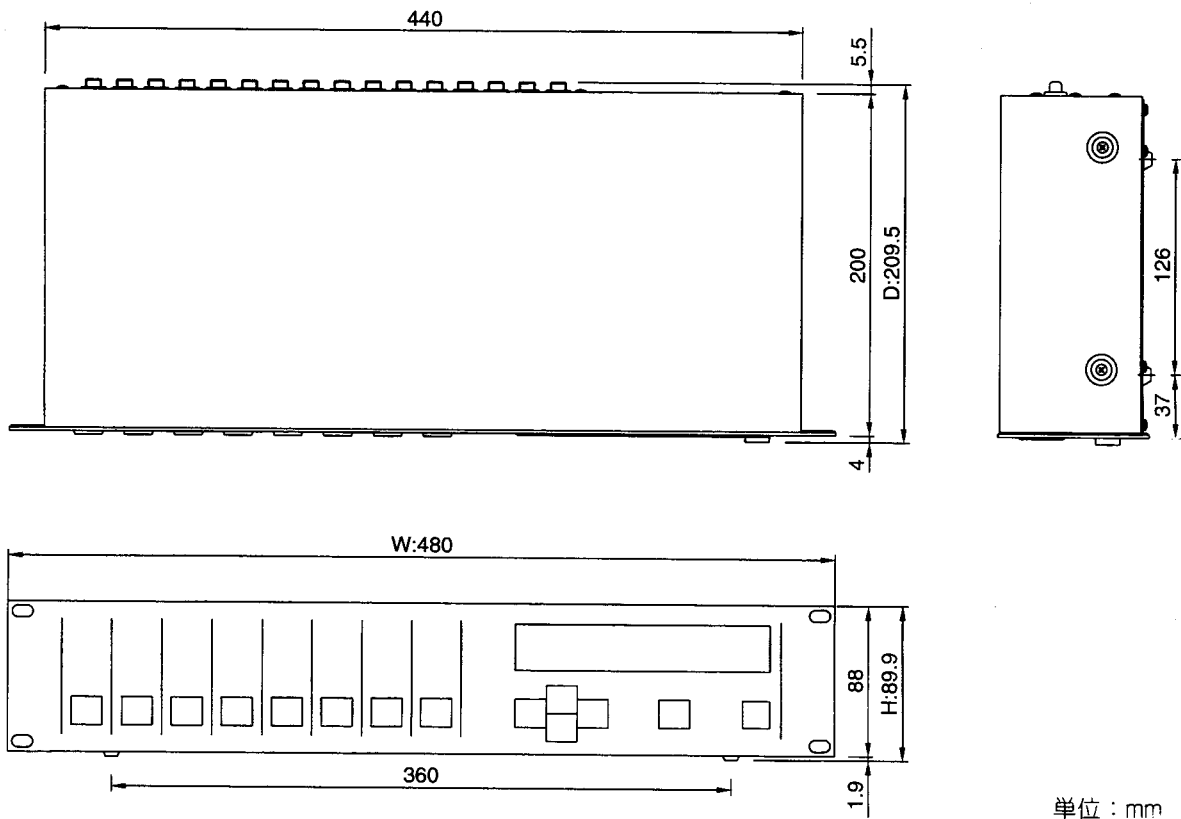
MIDI	コマンド： ノートオン、プログラムチェンジ コネクター： IN/OUT/THRU 5pin DINコネクター
電気特性	トリガーパルス幅： 250 ms±10 % トリガー用スイッチの種類： リレー トリガー回路の電圧/電流： Max. DC24 V 100 mA Min. DC20 mV 0.1 mA
電源	100 V±10 % AC 50/60 Hz
消費電力	Typ. 7.5 W
使用環境	動作温度 0℃～35℃ 保存温度 -20℃～+55℃ (ただし結露なきとき) 動作湿度 30 %～70 % 保存湿度 25 %～90 %
最大外形寸法(W×H×D)	480×89.9×209.5 mm
重量	3.8 kg

## ■ 出力仕様

CH1～8(A、B、C、D、OUT)	トリガー用信号端子 フォンジャック
--------------------	----------------------

---

■ 寸法図



单位：mm

# サービスについて

## ■ お客様ご相談窓口

ヤマハPA製品にかんするご質問・ご相談・あるいはアフターサービスについてのお問い合わせは下記のお客様ご相談窓口へおよせください。

## ■ 保証書

本機には保証書がついています。販売店でお渡ししていますから、ご住所・お名前・お買上げ年月日・販売店名など所定事項の記入および記載内容をおたしかめのうえ、大切に保管してください。

保証書は当社がお客様に保証期間内の無償サービスをお約束するもので、本機の保証期間はお買上げ日より1年です。

保証期間内の転居や、ご贈答用に購入された場合などで、記載事項の変更が必要なときは、事前・事後を問わずお買上げ販売店かお客様ご相談窓口、またはヤマハ電気音響製品サービス拠点へご連絡ください。継続してサービスできるように手配いたします。

## ■ 調整・故障の修理

「故障かな?」と思われる症状のときは、この説明書をもう一度よくお読みになり、電源・接続・操作などをおたしかめください。それでもなお改善されないときには、お買上げ販売店へご連絡ください。調整・修理いたします。

調整・修理にさいしては保証書をご用意ください。保証規定により、調整・修理サービスをいたします。また、故障した製品をお持ちいただくか、サービスにお伺いするのかも保証書に書かれています。

修理サービスは保証期間が過ぎた後も引き続きおこなわれ、そのための補修用性能部品が用意されています。性能部品とは製品の機能を維持するために不可欠な部品のことをいい、PA製品ではその最低保有期間は製造切後8年です。この期間は通商産業省の指導によるものです。

## ● お客様ご相談窓口：PA製品に対するお問合せ窓口

### <音響システム事業部 営業部>

東京営業所	☎ 03-5488-5480	〒108	東京都港区高輪2-17-11
大阪営業所	☎ 06-647-8359	〒556	大阪市浪速区難波中1-13-17 なんば辻本ニッセイビル
名古屋営業所	☎ 052-232-5744	〒460	名古屋市中区錦1-18-28
九州営業所	☎ 092-412-5556	〒812	福岡市博多区博多駅前2-11-4
本社国内営業課	☎ 053-460-2455	〒430	浜松市中沢町10-1

### <国内営業統括本部>

北海道支店 L M営業課	☎ 011-512-6113	〒064	札幌市中央区南十条西1-1-50 ヤマハセンター内
仙台支店 L M営業課	☎ 022-222-6146	〒980	仙台市青葉区大町2-2-10
広島支店 L M営業課	☎ 082-244-3749	〒730	広島市中区紙屋町1-1-18 ヤマハビル

## ● ヤマハ電気音響製品サービス拠点：修理受付および修理品お持込み窓口

北海道サービスセンター	☎ 011-513-5036	〒064	札幌市中央区南十条西1-1-50 ヤマハセンター内
仙台サービスセンター	☎ 022-236-0249	〒983	仙台市若林区卸町5-7 仙台卸商共同配送センター 3F
新潟サービスステーション	☎ 025-243-4321	〒950	新潟市万代1-4-8 シルバーポウルビル 2F
首都圏サービスセンター	☎ 044-434-3100	〒211	川崎市中原区本月1184
東京サービスステーション (お持込み修理窓口)	☎ 03-5488-6625	〒108	東京都港区高輪2-17-11
浜松サービスセンター	☎ 053-465-6711	〒435	浜松市上西町911 ヤマハ(株)宮竹工場内
名古屋サービスセンター	☎ 052-652-2230	〒454	名古屋市中川区玉川町2-1-2 ヤマハ(株)名古屋流通センター 3F
大阪サービスセンター	☎ 06-877-5262	〒565	吹田市新芦屋下1-16 ヤマハ(株)千里丘センター内
四国サービスセンター	☎ 0878-22-3045	〒760	高松市丸亀町8-7 ヤマハ(株)高松店内
広島サービスセンター	☎ 082-874-3787	〒731-01	広島市安佐南区西原6-14-14
九州サービスセンター	☎ 092-472-2134	〒812	福岡市博多区博多駅前2-11-4
本社/カスタマーサービス部	☎ 053-465-1158	〒435	浜松市上西町911 ヤマハ(株)宮竹工場内

※ 1994年5月1日現在

※ 所在地・電話番号などは変更されることがあります。



4 960693 099469

VS21990 R0 1 CR 94 05 100 CR

# ヤマハ株式会社

音響システム事業部 営業部 ☎ 053-460-2455  
〒430 浜松市中沢町10-1